

戦争・基地の本質を学ぶ2022沖縄平和研修開催

5月14～16日「戦争・基地の本質を学ぶ2022沖縄平和研修」を開催しました。

1972年に沖縄が本土復帰し、今年で50年を迎えました。「世界一危険な米軍基地」と言われている普天間基地や基地面積が町全体の8割を占める嘉手納基地を視察し、土地を強制接收され「銃剣とブルドーザー」により基地が建設された歴史と戦闘機による騒音問題、米軍人による事件・事故に未だに苦しめられている実態を学びました。

嘉手納基地視察



平和記念資料館見学



沖縄県民の民意を無視し、辺野古新基地建設が行われている現実を学ぶため、土砂の搬入・搬出が行われている安和棧橋・塩川港でダンプカーの阻止行動に参加しました。ゲート前を牛歩で往復するシンプルな行動でしたが、約2時間でダンプカー100台近くを遅らせることができました。



戦争は私たち弱い立場の人たちが犠牲になっています！

平和な社会の実現に向けて青年部から議論をつくり出そう！

